

(6) ちくさんのしごと

わたしたちの村は、むかしから馬やめん羊がたくさんかわれていました。そのりゆうは山や野原がおおく、家ちくをかうのにむいていたからです。馬は昭和20年頃までは、約1300頭もかわれ畑や田をたがやしたり、ものをはこぶのになくしてはならないものでした。しかし、耕うんきや自動車こちうがふえてくるとその数もへってきました。また、めん羊はセーターなどの毛を取るためにかわれていましたが、じょうぶでやすい化学せんいなどがでまわってきたためにかわれなくなりました。

げんざいでは、グラフにあるようにぶたや肉牛にゅうぎゅう（和牛）、乳牛のしいくがさかんでちくさんの村といわれています。

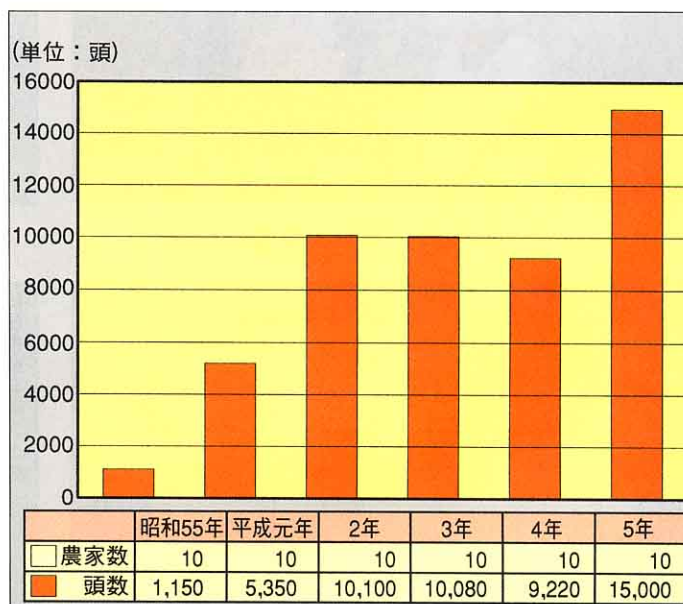
①ぶたをそだてる

村のちくさんの中で、ぶたはもっとも生産がくの高い家ちくです。かつている農家は10件ほどですが、1件で約1000頭ものぶたをかつています。ぶたは生まれてから10カ月ほどで販売できるため、高いしゅうにゅうをえることができます。

※1件の農家で1カ月に60～80頭を出荷します。



ぶたと農家数



(資料：福島農林水産統計による)